

ほっとHOT

ほん・夢いっぱい
わくわく図書館

令和6年11月号 NO.404

川西市立中央図書館
KAWANISHI PUBLIC LIBRARY

バリアフリー上映会

バリアフリー上映会とは、視覚や聴覚が不自由な方も、そうでない方も、一緒に映画を楽しめるよう、音声ガイドや字幕の入った作品を上映する行事です。誰でも自由にご鑑賞いただけます。

日本語音声、字幕に加えて「朗読ボランティアR.T.かわにし」による音声ガイドを行います。

日時 11月24日(日) 午後2時~(115分)

場所 アステ川西6階 アステホール3

上映作品 『老後の資金がありません!』



(監督:前田哲 出演:天海祐希、草笛光子、松重豊、新川優愛、瀬戸利樹、加藤諒、柴田理恵、他)

主人公・後藤篤子は、家計に無頓着な夫やフリーターの娘、大学生の息子と平和に暮らす平凡な主婦。日々家計のやりくりで奮闘し、安泰な老後生活を送るべく資金を貯めてきた。ある日、亡くなった舅の葬式代、そして長女の結婚と予定外の大きな出費が重なってしまう。さらに、篤子はパートを解雇され、夫の会社も倒産してしまう。篤子の努力もむなしく、後藤家はやがて貯金が底をつくという危機に直面する。悩みながらも幸せな老後のため、逆境に立ち向かっていく。老後破産の問題を痛切に描いた作品。

原作本 『老後の資金がありません』 垣谷 美雨/著 中央公論新社/刊 F/芥

📖 図書館登録グループ行事 📖

ポムポムといっしょ読み 主催:「おはなしポムポム」

日時 11月17日(日) 午前11時~11時30分 **場所** 5階 視聴覚室

内容 絵本の読み聞かせや手遊び、ブックトークなど。

対象 未就学児まで **定員** 20名 **問い合わせ** 中村さん ☎090-8126-5944

おとなが楽しむおはなし会 主催:「川西おはなしの会 ひばり」

日時 11月24日(日) 午前10時30分~正午 **場所** 5階 視聴覚室

内容 日本や外国の昔話・創作の話を語ります。親子でも参加できます。

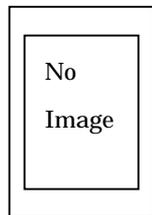
対象 小学生以上 **定員** 40名 **問い合わせ** 石井さん ☎090-6062-7807

TOPICS

- ・1面:バリアフリー上映会/図書館登録グループ行事
- ・2面:読書週間オススメ本紹介
/展示「うつし世は夢~江戸川乱歩生誕130年~」関連書籍紹介
- ・3面:文学賞を追う!/児童虐待防止推進キャンペーン関連展示
/トモちゃんが行く 川西のイトコ
- ・4面:図書館カレンダー・定例行事

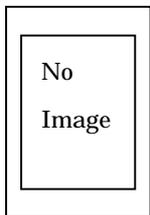


『わたしたち』
落合 恵子 / 著
河出書房新社 / 刊
F / オチ



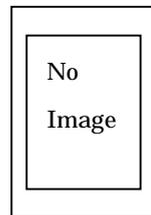
思春期からの友情が年月を
経てもつながっていて素敵。

『クララとお日さま』
カズオ・イシグロ / 著
早川書房 / 刊
933 / イシ



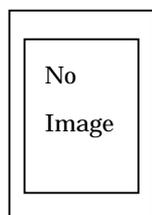
他者を想うクララ（人工親友）
の姿に深く考えさせられる。

『私たちの世代は』
瀬尾 まいに / 著
文藝春秋 / 刊
F / セオ



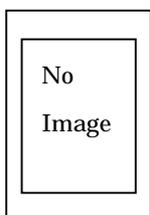
感染症流行を経験した少女
達を囲む優しさが心に残る。

『墨のゆらめき』
三浦 しをん / 著
新潮社 / 刊
F / ミウ



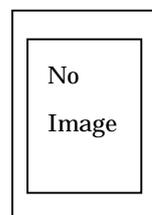
対照的な男性二人の間に、友
情が芽生える過程が良い。

『おいしくて泣くとき』
森沢 明夫 / 著
角川春樹事務所 / 刊
F / モリ



辛い境遇がありつつも、最
後は温かい気持ちになる。

『本屋さんのダイアナ』
柚木 麻子 / 著
新潮社 / 刊
F / ユス



女性の人生の苦しみと戦う
二人の姿に共感できる。

展示 「うつし世は夢 ～江戸川乱歩誕生 130 年～」

11月の展示テーマはひき続き「うつし世は夢～江戸川乱歩誕生 130年～」です。江戸川乱歩の小説や乱歩について取り上げた本を展示します。展示する本から2冊紹介します。

『みんなの少年探偵団』

万城目 学、湊 かなえ、小路 幸也 ほか / 著 ポプラ社 / 刊 F / ミシ

懐かしい当時の表紙の雰囲気もそのままに、“わたしたち”の探偵団が帰ってきた！人気作家5人によるそれぞれの視点からつむぐ少年探偵団物語。怪人二十面相ファンには溜飲のさがる話も。次のページをめくるはやる気持ちや憧れのBDバッチをどこにしまったのか忘れてしまった大人たちへ送る、アンソロジー。

『13 階段』

高野 和明 / 著 講談社 / 刊 F / ヲク

第47回江戸川乱歩賞受賞作品。当時デビュー作ながら選考委員の満場一致で受賞したことから話題になった。仮釈放中の青年とベテラン刑務官が、冤罪の可能性のある死刑囚を救うため殺人事件の謎を追う。最後まで真犯人の目星がつかない緻密なストーリーは、23年前の作品でも読み応えのある秀作といえる。

文学賞を追う！

ノーベル文学賞

ノーベル文学賞はノーベル賞 6 部門のうちの 1 つです。文学の分野において、優れた作品を創作した人に授与されます。毎年、10 月に発表され、授賞式はノーベルの命日である 12 月 10 日に行われています。

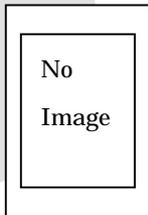
過去の受賞者にはフォークナーやヘミングウェイ、カミュら文学史に残る作家がおり、近年はミュージシャンのボブ・ディランの受賞が話題となりました。日本の作家は 1968 年に川端康成、1994 年には大江健三郎、2017 年にカズオ・イシグロ(現在は英国籍)が受賞しています。

最近の受賞者の紹介

2022 年
アニー・エルノー (フランス)

代表作

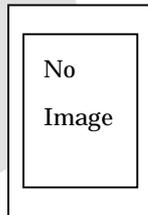
『凍りついた女』
早川書房/刊
953/IL



2023 年
ヨン・フォッセ (ノルウェー)

代表作

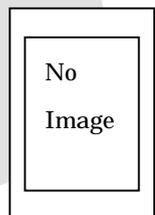
『だれか、来る』
白水社/刊
949.6/フォ



2024 年
ハン ガン (韓国)

代表作

『菜食主義者』
クオン/刊
929.1/ハン



参考資料

『ノーベル賞 100 年のあゆみ 6』 戎崎 俊一/監修 前原 政之/文 ポプラ社/刊 37//6

『ノーベル賞受賞者業績事典』 ノーベル賞人名事典編集委員会/編 日外アソシエーツ/刊 R 280.3//ハ

ノーベル賞公式 HP <https://www.nobelprize.org>

児童虐待防止推進キャンペーン 関連展示

日時 11月1日(金)～28日(木) 場所 4階 展示コーナー

内容 市内で「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施するのに合わせ、図書館では児童虐待防止に関する本を展示いたします。



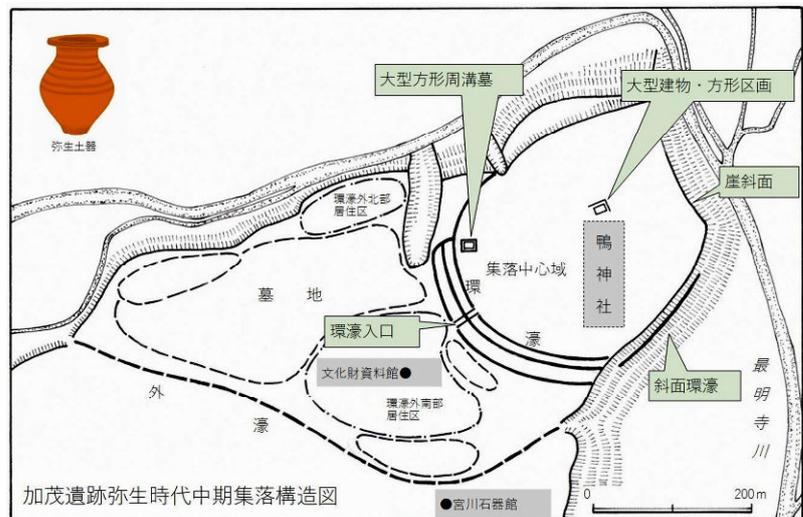
トモちゃんが行く 川西のイトコ
加茂遺跡

はっけん!



加茂遺跡は川西市の南部に位置する、旧石器・縄文時代から平安時代にかけての集落跡です。1911 年(明治 44 年)に、台地の東斜面から出土した栄根銅鐸や、多量の弥生土器・石器が散布することで知られ、1936 年(昭和 11 年)に地元で採集資料を展示した宮川石器館が開館しました。(宮川石器館は個人宅のため、事前予約が必要。)

最盛期となる弥生時代中期(約 2000 年前)には、広さ約 20 ヘクタール(東西 800m、南北 400m)に及ぶ大規模な集落であったと考えられています。近畿地方における弥生時代の集落のあり方を具体的に示す貴重な資料として、2000 年(平成 12 年)、国の史跡に指定されました。なお、遺跡出土遺物は川西市文化財資料館で展示しています。



参考資料

『加茂遺跡』岡野 慶隆/著 同成社/刊 210.2/オカ

『川西の歴史散歩』 山田 裕久/著 川西書店協同組合/刊 C00/291.6/ヤマ

『史跡加茂遺跡-弥生時代の大規模集落 国史跡指定記念-』 川西市/編 川西市/刊 C00/210.2/シセ
文化遺産オンライン <https://bunka.nii.ac.jp>

